



社会福祉法人 成蹊会

救護施設 桃李園

茜の家

vol.38 もくじ

- 1, 施設長雑感
- 2, 居宅生活訓練事業
- 3, 桃李園 断酒会
- 4, 医務室だより
- 5, 地域交流
- 6, 行事報告
- 7, 栄養士だより
- 8, 新人職員紹介
- 9, 編集後記

※「茜の家」に掲載されている個人名、写真、文章等は

個人の承諾を得て、掲載させて頂いています。



施設長 雑感

令和5年9月20日（水）

コスモス、彼岸花、赤とんぼ 少しずつ秋本番となりました。

地球温暖化を超え地球沸騰化になり、世界中で今まで経験したことのない現象が発生しています。コロナ感染症もいまだ終止符が打たれないまま新たな変異株が増加し、第9波が目の前に訪れるような状況になっています。

当園は昨年クラスターに見舞われ、防ぎきれなかった絶望と疲弊を経験しました。

コロナ感染期で長く施設間交流もできませんでした。今年は他の救護施設を知らない職員に、視察研修をさせて頂く機会を頂きました。とても良い経験が出来たと喜んでおります。紙面をお借りしてご協力いただきました施設様に心より感謝申し上げ、共感とたくさんの学びを今後につなげたいと思います。

7月7日～8日の両日、近畿救護施設研究協議会の兵庫県大会が神戸オリエンタルホテルで開催され、天気にも恵まれ予想を上回る参加者があり開催県としては有難い大会になりました。今大会では、同テーブルに色んな職種の方が入り交じり、色々なお話が聞け、とても良かったと評価を頂きました。発表が無かったことも良かったのだと感じました。大会のお世話を頂きました各施設長様始め役員の方にも厚く御礼を申し上げます。

日々業務におわれる毎日ではありますが、生活困窮者・生活障害者の砦としての大項目の自立を果たせないまま、次の救護施設やグループホーム・病院等に移行される方のなんと多い事、令和2年度まで平均在園年数が6年でしたが、その後は5年と短くなっています。従って入退所される方が増え、十分な支援に繋がっていません。

企業が社会的な責任を問われるようになり、人権に配慮することが求

められる中、加東市では企業のための人権学習会が開催され、一般社会においても虐待や暴力などの啓発活動が盛んになっています。福祉現場でも専門性が介入する機会が少なくなり、個人の主張が優先される時代になり利用者の皆さまの自由奔放な生き方を受け入れざるを得ない、危惧される時代になっているように私は感じています。

漱石の「 智に働けば 角が立つ 情に掉させば 流される 意地を通せば窮屈だ 」

ゴードン・ハミルトンの福祉職に求められる 1.温かい心 2.冷たい顔 3.優れた技術 4.人間関係力 5.健康 6.人間尊重以上の6H 私自身も必死に追い求め、職員に求めてきたものが、空しく崩れかけているように思います。

「福祉は人なり」 福祉人材不足も相まって、やる気があるだけではできる仕事では無くなり、その反面、専門性も通用しにくく、入所者の我儘だけが先行するジレンマを抱えて日が過ぎ去っていく。これで良いのか？と疑問を持ちながらの日々である。福祉のとらえ方も曲がり角に立たされています。

私自身高齢の中にあり、高齢者の考えをお伝えできるという利点もあり役に立つと自負する反面、利用者様の理解に至らない部分もあり、ギャップを感じています。

地域貢献事業に関して、障害者施設とのコラボ、他施設との綿菓子機外交、今迄取り組んできた一般相談の新たな設立に加え、地域の団塊世代の為のサロンを計画中です。まだまだ社会の役に立ちたいというささやかな挑戦は続いています。

阪神の「アレ」もきまり、地元社高校、母校神村学園の甲子園出場にも元気を頂き、施設のメンテ、若手職員の育成、桃李園のお母さんとして小さな元気を届けたいと思います。



武田 てる子



居宅生活訓練事業

居宅生活訓練事業では、施設生活からスムーズに居宅生活に移行できるように、施設が訓練用住居（アパート）を準備し、一人暮らしに近い環境で生活訓練を体験します。訓練中は各人の目標・課題を達成する為に、金銭管理、光熱費管理、健康管理、買い物や調理、掃除、日誌の記録等多岐に渡り約1年自立に向け取り組みます。

桃李園では平成20年4月より事業を開始し現在に至っています。園から車で5分、自転車で20分ほどの所にある、1ルームのアパートを3部屋借りて訓練をしています。

生活の場を施設からアパートに移し、毎日施設に通い、作業に参加し、買い物をしてアパートに帰ります。夕食を作り、洗濯、入浴等を行います。一日の締めくくりとして訓練日誌と家計簿の記入も行います。その内容を職員が毎日確認して、相談に答えたり、無駄使いの無いよう時短メニューの提供などの支援を行っています。

令和5年度の居宅生活訓練も3名の方が参加されています。訓練ではアパートの近隣の方との挨拶やごみ出しなど、社会の一員として生活を送っておられ、施設生活とは違う緊張感をもって過ごしておられます。施設の集団生活では、困った時は職員に、すぐ声かけ・相談ができますが、居宅生活はそういう訳にはいかない事も多く、様々な事を想定・対処できるようにしなければなりません。訓練開始から半年が過ぎ、新たな課題に気づかれています。

そこで居宅訓練教室を開催し料理教室や災害時の対応、来客者の対応方法など訓練者同士で協力できる事など、話し合いをしながら課題解決に取り組まれています。

猛暑も過ぎ、過ごしやすい季節となりました。引き続いての生活を職員一同見守って行きたいと思えます。

<調理実習風景>



桃李園 断酒会



毎月第3木曜日に断酒会を開催しています。コロナ禍に外部から来園して頂くことが難しく、オンライン開催で、3年目を迎えました。現在、園の利用者様4名と近隣の断酒会の方や尼崎の作業所の職員・通所者の方、加東市の職員の方に参加頂いています。ご自身の酒害体験をお話して頂き、更なる断酒継続を誓われています。

昨年は、当園の利用者様の断酒会参加者の中から、退所された方が2名おられました。1名は家族と共に暮らすことが決まり、退所後には、オンラインで当園の断酒会に参加されています。もう1名の方は「2度と飲まない生活を送りたい」と断酒を決意し、1年間の居宅訓練を経て、住み慣れた地域に帰って行かれました。訓練中は一度もお酒を口にすることなく、断酒を貫かれました。今は、作業所などに通いながら、断酒会に参加し、元気に過ごされています。「お酒を飲む親を見て育ち、自分はやめておこう。」と思っけていても、知らず知らずのうちに酒のある場所に引き寄せられて、お酒に逃げる親の姿を真似ていた。だが、娘が断酒を応援してくれており、今まで断酒を継続出来ている」とご自身の酒害体験を話される方がおられます。飲酒のきっかけも家族かもしれませんが、お酒から立ち直るきっかけも家族の支えによるものであると痛感します。最近では家族会の方が断酒会に参加されることもあります。

お酒について悩んでおられる方、温かい仲間のいる桃李園断酒会に参加されませんか。

桃李園断酒会 連絡先

住所：兵庫県加東市稲尾 383-40

場所：救護施設桃李園内 2F 会議室

電話番号：0795-48-4727

メールアドレス：dansyukai@tourien.com

<医務室だより>

4年目に入るコロナも第5類に変更され、久しぶりに皆で集まり健康教室を開催することができました。

今年は地球温暖化とフェーン現象も伴い1898年の統計以来もっとも暑い年となり、地球沸騰と言われる異常な暑さでした。

当園では平均年齢65歳、最年長者は87歳です。後期高齢者の方は全体の24%、65歳以上の方は56%と入所者の半数以上をしめています。中には認知症の方もおられ水分摂取を自らコントロール出来ない方もおられます。

そこで今回は「熱中症対策について」学びました。DVDで実際に起きた脱水症例や緊急搬送された症例を観て、その時にどのようにすれば良かったのかを一緒に考え、知って頂く勉強会です。

園で行っている予防対策は、日中の暑い時間帯には外仕事や散歩を避け、屋内での作業をしていただき、屋外に出る際は、風があり涼しく感じても必ず帽子を被る事をすすめています。室内では冷房をつけ、のどの渇きを感じなくても1時間おきに水分を摂る支援を行っています。梅雨の時期は室温と湿度が高く軽度熱中症の方が数人出ましたが、今では予防対策を理解された利用者の方も増えました。「冷房が入りました」の放送後は全員で窓を閉める習慣もつき、冷房の効きを良くする事で熱中症の方は出ていません。

今後も命を守るためにどうすれば良いのか、利用者様と共に考え学んでいきたいと思えます。



♪ 地域交流

6月28日（水）

社会福祉法人でんでん虫の会

「ケアホームあんも」様

「ケアホームあんも」さんは、加東市内にある知的ハンデをお持ちの方が共同生活をされているグループホームです。

他施設に学び、利用者支援に活かしたいと9名のあんも職員さんが研修にお越しになりました。

たくさんの情報も聞け意見交換ができ勉強になりました。

今後も災害時や緊急時にも、お互い助け合えるように親交を深めていきたいです。

ランチは、桃李園特製愛情カレーでおもてなしをしました☆



8月4日（金） 「でんでん虫の家」様

桃李園夏祭りに「でんでん虫の家」さんの5名のご利用者様、職員様にご参加いただきました。

同じ障害者というくくりの中で、他施設の支援の大変さをかいま見たようでした。

楽しい時間を一緒に過ごせた事に感謝いたします。

来年もお待ちしております。



8月5日（土） 稲尾地区盆踊り

桃李園のある稲尾地区でも4年ぶりの盆踊りが開催されました。

桃李園からも7名の職員が参加させて頂きました。

日本の夏の伝統行事で子どもからお年寄りまで、仲良く顔を合わせる機会が再開されたことを嬉しく思います。

桃李園から、メダカ・カブトムシを提供しました。「4年前にももらったメダカが今も生きています」と地域の方との繋がりを感しました。久しぶりに屋台で、新しいダンスに汗だくになりました。



行事報告

<6月 ショッピングツアーと播州成田山へお参り>



御祈禱する場所に入る事ができ、御本尊不動明王像を拝見しました。利用者さんは「少し怖い。でもご利益がありそう。」と喜ばれました。そして、心を落ちつかせ両手をあわせて、どんな願いを祈られたのでしょうか？

<7月 七夕まつり>



令和5年 星に願いを込めて今年も、短冊に願いを書き、飾り作りから、飾り付けまで楽しく活動出来ました。皆様の願いが叶いますように。



☆今までは笹でしたが工夫して壁画にしました☆

<8月 夏祭り>

*午前 夏祭りカラオケ大会



浴衣姿
ステキ♥



昼食：焼そば・唐揚げ・ポテト
バナナ・おみそ汁

すいかは、地域の方から頂きました。



当園の綿菓子機



- *午後 模擬店
- ・たこ焼き
 - ・ジュース
 - ・わた菓子
 - ・金魚すくい
 - ・お化け屋敷



笑顔いっぱい、お腹いっぱい楽しい1日でした。

<ミニスポーツ大会>



わなげ



職員と一緒に、ゆっくりと👉



玉入れ



<焼き芋大会>



前日に皆で焼き芋の準備をしました



熱々のさつま芋🍠とっても美味しかったね

<ドライブ&ショッピングツアー>



共進牧場へ行きました🐄



<栄養士だより> お野菜から繋がる縁



～地域の方からおすそ分け～

SDGs



昨年、突然の出会いがありました。地域のKさんが園へ、お野菜を沢山持って来て下さいました。畑で採れた旬のお野菜で、最初はとても驚きました。

「食べてもらえる方に使って貰えるのが嬉しいんです」とその後も不定期に沢山の野菜を頂いています。物価高騰の折、とてもありがたいおすそ分けです。頂いたお野菜は給食や居宅生活訓練の方の食材に使用させて頂いています。

また、有名な「たきの茄子」の生産者さんからは、出荷できない規格外の茄子を沢山頂きました。素人目には、とても綺麗な茄子です。しかし、厳しい出荷基準には当てはまらないとの事で、こちらもありがたく頂いています。

生産者さんが大切に、精魂込めて栽培された茄子は、一味も二味も違います。素材がいいと、料理の味もより一層引き立ちます。茄子カレーは利用者さんにとても好評で、残飯は凄く少ないです。

頂いたお野菜の洗浄、選別は利用者さんにお手伝いさせて頂いています。

「野菜洗いするよ！任せて！出来る事があったらいつでも言ってね」と皆さん快く作業をして下さいます。野菜を触る機会がないので、気分転換になり会話も弾み、笑顔も沢山見られます。また自分達で洗浄した野菜が給食に出てくると「今日の野菜は私が洗ったんよ」と嬉しい声が聞こえます。

地域の方とも食材を通じ、交流が持てる事、心から感謝致します。

管理栄養士 M・F



頂いたお野菜



頂いたお野菜の洗浄作業



たきの茄子カレー



あじさい御膳



ひなまつり

♪ 新入職員紹介 ♪

はじめまして、令和4年10月から生活支援員として勤務しています。私は桃李園が初めての職場で、分からないことが沢山ありましたが、施設長や先輩方のご指導のもと、日々利用者様との関わり方や支援を学ばせて頂いております。これからも精一杯頑張っていきます。よろしくお願ひ致します。(K・R)



令和5年4月から生活支援員として勤務しております。初めての福祉の現場で、利用者様への接し方、対応など不安や分からない事ばかりで、日々、あの場面ではこれでよかったのか？と反省の繰り返しです。先輩方から沢山の事を学ばせて頂きながら、自分自身の成長と利用者様の支援に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。(A・J)



4月から生活支援員としてお世話になっています。小野市で生まれ、小野市で育ちました。体を動かすことが好きで、幼い頃からバレーボールを続けています。食べる事も大好きでラーメン屋巡りをしています。

利用者様との関わりの中では、毎日さまざまな新しい発見があり、教わることもたくさんあります。まだまだ分からないことがたくさんありますが、明るく元気いっぱい頑張っていきます。

よろしくお願ひ致します。(N・Y)



若さとエネルギッシュな発言に期待度 200% !

福祉車両助成金ありがとうございました

共同募金にご協力いただいた皆さまの温かいお気持ちに感謝いたします



赤い羽根共同募金より助成頂きました

福祉車両が3月に納車されました ✨ ✨ ✨ ✨

スロープと電動ウインチで車いすも乗り降り楽々！

利用者様の支援拡大に、安全運転してまいります。



<編集後記>

桃李園のある加東市稲尾は、山里の自然美豊かな高台に位置し、現在桃李園の建っている場所は、昔はアユの養殖場でした。そのため今も近くにため池が多くあり、秋から冬の早朝は霧が立ちこめ、ベランダから見る景色はとても幻想的です ✨

さて、10月の運動会も無事終わり、11月は総勢30名☆大型バスで日帰り旅行を計画中です。昨年は淡路へ行き鯛料理をいただき、迫力満点の渦潮を船の上から見て、高齢の利用者様は、冥土の土産になったと涙を流されました。

今年は鳥取へ 鳥取砂丘 砂の美術館見学、日本海の海の幸をいただきます。

普段は山里暮らしですので、大海原が楽しみです。日常を離れリフレッシュし、利用者様の思い出の1ページになればと準備にも熱が入ります(*^-^*)

A.F



あかね いえ
茜の家 vol.38



令和 5年10月吉日 発行



しゃかいふくしほうじん せいけいかい
社会福祉法人 成蹊会

きゅうごしせつ とうりえん
救護施設 桃李園